

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こばんはうさくらく保士ヶ谷教室（放課後等デイサービス）				公表日 利用児童 数		2024年10月20日	
						22名		回収数 20名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				机やいすがあるが広々としたスペースはある	安全性を考えてスペースは確保できるようにしている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20				子供はいろいろなスタッフの名前を覚えてくれるので多くいる感じがする	安心して活動が出来るように配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思	18			2	2階が教室の為スタッフが見守りや声掛けを行っている説明があった	不安要素は取り除いていけるように今後も努めていきたいと思います	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思	20				いつもきれいになっていて清潔感もあり換気も行ってきている	特に子供たちの活動の時間帯には換気などに配慮している	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				集団の中で学んで欲しいことなど子どもに分かりやすく伝えてくれていると感じる	1人1人に応じて分かりやすく伝えるように心掛けています	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1	その日のプログラムも臨機応変に対応してくれていると思う	その日の子どもたちの様子を見て活動内容を変更したりして対応している	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				細かい部分など配慮してくれているように思う	今後もお子様や保護者様の課題やニーズを組み込んでいきたいと思	
	8	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				相談内容をふまえて設定してくれている	相談内容をふまえた上でお子様の不安にならないような感じで無理のないように設定している	
	9	放課後等ディサービス計画に沿った支援が行われていると思	20				行われていると思う	計画に沿って支援している	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	20				多種多様プログラムより1つのプログラムの中で色々な活動をしている	1つのことで多くの遊び方を工夫できるようにしている	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20				一緒に活動はしていないがキッズと交流している事はある	今のところ予定はないが希望者が多かった場合は検討したいと思います	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				しっかり説明があった	分かりやすく丁寧に説明を心掛けている	
	13	「放課後等ディサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				きちんと説明があった	分かりづらい言葉（専門用語）は避けて説明するようにしている	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18			2	対応の仕方（声掛けなど）教えてくれたりちょっとしたことでも対応してくれている	機会をつくるというよりその都度対応できるようにしている	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思	20				学校からお迎えの様子や活動中の様子など変化があったらすぐに教えてくれる	送迎時や連絡用をはじめ電話など伝えている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				その都度、対応してくれている	保護者が必要と感じた時などすぐに対応できるようにしている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思	20				スタッフも子育て経験者の方が多いのでよくわかってきている	一緒に悩んだり考えたりしながら支援していきたいと思っている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がさ	2	3		15	お迎えの時などにきょうだいに話したり関わりが持てるようにしてくれている	保護者同士でつながりもある様子で話して頂いたり、送迎時などお話を聞いている	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				すぐに対応してくれている	何かあれば電話で話したり送迎時など連絡ほしい旨を常に伝えている	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				連絡帳や電話ですぐに対応してくれる 送迎時などでも対応してくれる	すぐに対応できる旨、常に声掛けし伝えている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20				ブログ等でしっかり見れるようになっている	色々な活動についてその都度ブログあげて把握しやすいようにしている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				契約時に説明がしっかりありました	契約時にしっかり説明をしている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施され	20				ブログなどでも訓練の様子など見れたりできている	訓練などは分かりやすく子供たちに伝えている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20				訓練の周知はあります	定期的に訓練をしています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20				色々な内容で説明がありました	内容が多いですがお伝えし周知しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20				学校、キッズで発生した件でも申し送りしてくれているから助かっている	こちらでも活動中にいつもと違う様子等しっかり内容報告をお迎え時の学校やキッズでの申し送りの際はきちんと伝え
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				安心して学校からお迎えを待っている様子	安心して利用してもらえるように心掛けています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				利用時にやりたい事を考えている様子	一緒に楽しく活動できるように心掛けています
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				親子共々満足している	満足して利用頂けるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思います

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こぼんはうすさくら保土ヶ谷教室（放課後等デイサービス）		2024 年 10 月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		机の位置など活動に応じて変更しスペース確保している	子供達の荷物が通常より多くなった場合のスペース確保が課題
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	15		子どもの状態によってはいつでも個別に対応できるようなスタッフの人数はいる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15		教室が2階のため階段が心配。必ずスタッフが見守り声掛けをしている	子どもが安全安心して階段昇降してもらえるように子供の目線で考えて配慮していけるようにする
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		活動前後はしっかり換気している	エアコンを使う季節は特に換気の必要性がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15		対応可能な部屋はいつでも使用できる状態になっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15		ミーティングは全スタッフが参加出来るような日程で組んである	スタッフで小さなことでも進めていけるようにしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		年に一回アンケート実施している。集計し振り返りしている	集計後スタッフで振り返りし少しづつ改善へ繋げていくようにしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		ミーティングで日々スタッフ同士で意見を出し改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		15	第三者評価は行っていない	外部評価はしていないので、今後検討の可能性はある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		研修の日程を組んで必要な内容を研修している	今後もまとまった研修時間の確保が出来るようにしていきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		季節や日々利用の様子でスタッフが検討して決めている	季節に応じた行事でも思考凝らしたものにしていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15		アセスメント記録にプラン作成に必要な視点を含めて記入している	プラン作成に際して必要な考え方、捉え方など日々勉強していく必要がある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15		アセスメント記録に基づいてスタッフで検討し支援している	1人1人のアセスメント・記録をみてスタッフと共に検討し、それを踏まえて作成している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15		スタッフで共有している事なので同じように共有できている	認識の違いが出ないように計画に沿った内容を共有できるようにしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15		日々の記録（連絡帳など）を用いたり申し送りで状況の確認をしている	日々の申し送りが一人一人詳しく行っていると時間がかかってしまうが、しっかりやりたいと思うと時間が取りにくい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		視点を把握したうえで本人に合った計画がなされている	本人に沿った計画で支援されるようにスタッフも支援している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	5	スタッフで考えて案を出し決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	様々な観点から他のスタッフと案を出し合って決めている	マンネリ化しないようにしていきたい

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15		状況に応じて個別活動、集団活動を行っている	子どもの状況で日々どちらの活動にしようか検討し支援していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		必ず業務連絡し確認している	少しの間でも常に情報共有しようと思い確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15		必ず業務連絡と同様に振り返りを行っている	次の日へのフィードバックを必ずするようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1	個々に日々活動における記録はとっている	日々の記録や特記をみて今後の支援について検討している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15		定期的に行っている	定期的に行っていて適切に見直している
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	5	状況に応じて活動を組み合わせて行っている	子どもの状況に合わせて日々変えたりしながら活動している
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15		余暇活動では子どもたちが主体的に動けるように見守っている	子どもたちが選択できるように遊びでも2つ以上のやれることを提案できるようにしている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	5	参加している 日々の記録で様子が分かるようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15		利用状況に応じて区役所等と連携している	今後も継続していけるようにしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15		その都度、声掛けし確認している	緊急連絡先など聞いているがある一定期間で連絡先の変更ないか確認必要だと思う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2	情報共有し必要なことについて検討している	保護者から情報を聞き、保育園等からも連絡を頂いたりしている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	13	今のところ移行される方はいなかった。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	13		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	5	キッズを利用している子がほとんどなので交流もとれていると思う	公園に遊びに行く際は他の子供との交流も出来ているがキッズなどは利用人数が多いので企画があれば検討できるがなか
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	9		地区の町内会などは参加している 行事は日曜日だったりするので参加難しい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		送迎時に伝えたり電話で伝えたりして、今の状況やこれからの話をしている	保護者にも些細な事でも教えて欲しいと話してるため、連絡帳で教えてくれたりしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	5	こばんでの声掛けの仕方など支援の方法について聞かれることも多く、その都度お伝えしている	出来る限りこちらでの対応の仕方をお話している
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		時間を設けて説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	15		初回やアセスメントの際など聞き取りを行い、確認している	利用時に子供にも意思を聞いて確認している
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15		計画書にサインをもらっている	説明の上、計画にサインをもらっている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	5	お電話でお話ししたり、適宜面談をしたりしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	9	保護者会などはないがお迎え時など他の保護者様と会ったりする中で交流をしている様子が見受けられる。送迎時にはきょうだいにあってお話すこともある	常に支援する方向で考えている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	5	そのように対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	5	HPやブログで発信することはお伝えしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		鍵付き書庫で保管してる	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	2	言葉で分かりにくい場合はボードやカードを使い視覚から入るようなものを使ったりしている	ボードを作成したり、子供に応じた対応を考えている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	9	行事に招待することはないが、外を歩いたりする際ご挨拶したりしている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		日程を決めて、各種マニュアルを見ながら研修や訓練をしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		日程を決めて、行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	6	事前に情報を聞き取り、スタッフ間できちんと周知している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	6	今のところいない	アレルギーのあるお子様の場合、そのような対応がとれるようにしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15		日程を決めて、研修や訓練を行っている。またそのことを念頭に支援している	これからもスタッフにしっかり周知していきたいです
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15		説明もその都度行っている	送迎時などで保護者に必ず伝えられるようにしている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		毎回のミーティング時に振り返りを行っているため、その中で挙げられたものは検討している	ファイルを作成し、どのような内容があるのか分かるようにしている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		研修を設け行っている 注意を払っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	6	今までにそのようなことはないが、口頭では説明させていただいている	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら保土ヶ谷教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2024年 7月 22日		～	2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年 8月 26日		～	2024年 9月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日当たりが良くいつも明るいイメージ 活動スペースも広い	2階が教室ということもあり活動するスペースを 広くとり宿題する（個人活動）にも集中できるよ うに席の配置にも工夫している	個人活動がはかどるために1人1人が集中できる スペース作りや明るい場所で集中し取り組めるよ うにしている
2	送迎サービスの提供 就労していたりきょうだいがいたり等で送迎があ ると安心、助かっている	日々の連絡帳を利用した報告や送迎時に情報共有 している	時間を毎回作ることが難しい中、保護者とのコ ミュニケーションとれる場として随時対応してい くようにする
3	季節時の多様なプログラム	季節を感じてもらうため四季イベントは皆で考え て提供していく	子どもたちにはイベント前準備等みんなで参加に 取り組めるように1人ずつ準備説明して取り組む 事を強化していくことで楽しいイベントが行える

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動を見て頂くことやより深く理解していただく	保護者の就労していたりでなかなか時間が難し い。 本人の家の様子とかばんの様子の違 いを保護者が活動をよりよく観察できるような機 会を増やす。面談時も見学できる時間帯をすすめ ていく	定期的な面談等で保護者とのコミュニケーション を強化して意見や要望をさらに積極的に取り入れ る
2	2階が教室があること	階段昇降できる方しか利用が難しい事 天候などにより滑りやすくなったり危険性がある	手すりにつかまって上がるなど声掛け・見守りを する 荷物が多い場合はスタッフが持つな ど工夫していく
3	保護者同士の交流の場に繋がられる取り組み	両親ともに就労されていたり、きょうだいがまだ 小さいなどで保護者会の開催は困難な状況 保護者によっては交流を必要としていない家庭も ある	今後もイベントなどを通じて保護者の交流のタイ ミングを設けたり、お迎えに来て下さるタイミン グで交流が持てるように機会をつくっていく